

Manila

エコシステムの特徴・トレンド

- ◆ 東南アジアでは後発のスタートアップ拠点。近隣国に比べて、新規投資額、スタートアップともに少ないが、英語に堪能かつ豊富な若年人材と大きな消費市場によって成長が期待される。
- ◆ 近年、大手通信会社がVCやアクセラレーターを設立し、国際的な起業支援機関も進出。2019年に「イノベーション・スタートアップ法」が施行され、政府のサポートも強化。2019年の会社法改正により発起人1名でも株式会社登記可能に。
- ◆ フィンテック、e-commerceが有望視されている。仮想通貨決済のコインズ・ドット・ピーエイチ (Coins.ph) は2019年にインドネシアのゴジエックが買収。オンライン決済のペイモンゴ (paymongo) は2019年にシードファンディングで270万ドル調達して注目された。
- ◆ 英語も公用語のため、海外の人材がフィリピンでスタートアップを立ち上げ、他国に展開していく活用方法も見られる。

提携先



- 海外企業のフィリピン展開/進出を支援、スタートアップの資金調達、パートナー探しを支援
- 比系スタートアップ向けのアクセラレーターを運営
- 東南アジア日系イノベーションカンファレンス最大規模のIGNITEをdentsu X社と共同運営
- フィリピンの主要財閥、政府、VC、インキュベーターとのネットワーク有り

Kotaro Adachi, Co-Founder, TECHSHAKE



東南アジア X イノベーション領域での可能性を感じ、TechShakeを創業。システム開発のAXIS Software Development, コンサルティングのGlobal Bridge Resourcesを経営。スペインのIE Business SchoolにてMBAを取得。



フィリピン
スタートアップエコシステムスナップショット

Exit Growth Index
テックスタートアップの
エグジット増加インデックス

5

Investor Activity Index
投資家アクティビティインデックス

1

Funding Growth Index
ファンディング増加インデックス

2

Total Early Stage Funding
シードラウンドとシリーズAの投資額
(2017年、2018年と2019年上期の合計)

US\$ 102M

世界の平均: US\$431M

Ecosystem Value

エコシステムバリュー
(2017年、2018年と2019年上期の合計)

US\$ 1.6B

世界の平均: US\$10.5B